

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】木造・木質化事例調査のパターンランゲージ化並びに都市

背景と目的

【背景】

・昨年度の当事業調査により木材利用のメリットと課題が明らかになった。

【目的】

・都市部での木造・木質化についてはトライ&エラーの状況下であり、チャレンジとノウハウの蓄積が必要なため、具体事例を木造・木質のパーツ別に「防火等の建築規制」、「持続可能な木材調達」、「コスト」の視点から解析する。

での木材普及用資料作成

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 木製サッシ(1)
- 天井(2)
- 壁(3)、床(4)
- 木壁(5)、木質サイディング(6)、木扉(7)

⇒A材丸太を原材料とする上記商品等をパターンランゲージ化し、資料の作成、木質化と商業施設売上額との相関の数値化等を行い、木材普及につなげていく。

写真・図等



↑ 木製サッシ(1)

↑ 天井(2)

↑ 壁(3)

↑ 床(4)

↑ 木壁(5)

木質サイディング(6)→

← 木扉(7)

事業実施主体

関西広域木造建築普及促進協議会(大阪府木連)

実施体制・連携グループ

- 実施 関西広域木造建築普及促進協議会(事務局 大阪府木材連合会)
- オブザーバー 近畿中国森林管理局、近畿地方整備局
- 調査連携機関 大阪府建築士会(アンケートほか)
- 座長 五十田教授(京都大学)
- 委員 桜設計集団(安井昇氏)、アーク不動産株式会社(今井邦夫氏)、近畿不動産鑑定士協会連合会(倉田智史氏)、独立行政法人住宅金融支援機構(水野将司氏)、株式会社竹中工務店(藤村雅彦氏)、日経BP社(小原隆氏)、住友林業株式会社(宮本篤実氏)、株式会社紅中(吉良靖男氏)他 (ヒアリングも実施)〔予定〕

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①ターゲットの設定及び木造・木質化調査によるパターンランゲージ化・アンケート調査・ヒアリングの実施による事例の詳細分析
- ②都市での木材普及のための資料を作成
- ③普及のためのシンポジウム開催

【ターゲットの設定】

※今後更なる需要が期待される要素を設定

- ・都市の木造・木質化建築物
- ・都市の木壁等

【パターンランゲージ化】

※要素別に、設計パターン、防火等法規制、木材調達、川上側への還元、コスト等の視点から事例を分析、整理

- ・建築要素:サッシ、壁、天井、木塀、木製サイディング、床、木壁等

【アウトプット】

※都市での木材普及のための資料、カタログ等作成

木質化と売上額の相関性の数値化

<イメージ>

- ・商品別にコストダウン・訴求力のある空間のための設計・調達手法を整理

【調査方法】アンケート・文献調査で抽出し、深掘り
・大阪府建築士会・木造・木質化設計者へのアンケート・ヒアリング

普及を年頭に、特にサッシなど「規格化」が期待できる工業製品に特に注力して調査・分析、数値化を行う

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

ターゲット設定・検討委員会検討・確定

アンケート・文献調査・ヒアリング

要素別にパターンランゲージ化

結果取りまとめ・都市での木材普及資料作成

シンポジウム開催